



電気学会 IEEJ プロフェッショナル アクションレポート  
2009年5月・第10号

IEEJ プロフェッショナルニュース

ニュース1. IEEJ プロフェッショナル第11回懇談会 (メモ)

1. 日時 平成21年2月17日(水) 15時～17時20分
2. 場所 電気学会会議室
3. 出席者 18名
4. 議事
  4. 1 三上亘氏講演
    - (1) 「モータ技術の変遷と今後の課題」のタイトルで講演。
    - (2) 科学・技術の歩み(15～20世紀、21世紀はどのような世紀か。)、日本の工業化と科学・技術(技術導入時代、産業技術の自立、再建期の工業技術、発展する機械、大量生産・高品質の時代、モノづくりの再建)、モータ技術の歩み(19世紀前半～20世紀後半)、パワーエレクトロニクスの要素、21世紀のモータとモータ技術、日本におけるモータ成果とモータ、21世紀の技術活動の課題、技術者が持ち合わせなければいけない要素とは、等の講演であった。
    - (3) 若い技術者の程度が落ちてきている(大学はインターンシップ制度をもっと取り入れるべきでないか。電気回路がわからない。大学でもものにさわっていない。)。教科書(昔教えた三相モータや誘導円線図など書かれていない。電気材料の教科書一冊もない。図書館はどんどん捨てている。技術は回転する。データベースとして残すのは学会でやるしかないのではないか。データベースは検索ができるようにする必要がある。)。知恵の授業がない(アメリカの方式考えた方がよい。)。企業では昔は先輩から教わったが、今は教える相手がいない。江戸時代にも技術の下地はあったのではないか。等の意見があった。
  4. 2 プロジェクトの進捗状況報告
    - (1) 2008年度武蔵村山市第2・第5中学校理科教育支援報告が右高氏よりあった。  
メンバーは5名。自由実験19時間(電気を起こしてみよう、エジソン電球、電気湯沸かし器、陰極線—電子の流れを目でみよう、充電式ミニカー、モータを作ってみよう、MKモータ)。授業支援12時間(抵抗の支援、オームの法則など)。いずれも好評である。講演会5時間。今後の課題(電気学会らしい実験が要望されている。事例を集める必要。さらなるIEEJプロフェッショナルの参加。経験者の参加。ボランティアでは限界があり、組織的に動くべきである。))
    - (2) 理科支援がなぜやられているかわからない。どこからの依頼であるか調査する。(梅田)地方自治体の教育委員会が適当に動いているのではないか。(武子)
    - (3) 東京都産技研との打合せは4月以降となる。
    - (4) 東京都産技研のエンジニアリングアドバイザーの募集に申し込んだ。3月に審査が行われる。(武



子)

#### 4. 3 今後のスケジュール

- (1) IEEJプロフェッショナル会の総会は平成21年8月25日(火)16時～19時に変更する。1時間講演を行い、2時間懇親会を行う。講演については電気学会会長代理に依頼する。参加者の中に会員でない企業の希望者を含める。

#### 4. 4 その他

- (1) 東京都中小企業振興公社では広域連携支援事業に係るコーディネータ((社)日本技術士会管理)や専門相談員を募集している。
- (2) (株)クリエイト・インターナショナル(人材スカウト会社)では各資格者の登録募集を行っている。

### ニュース 2. IEEJプロフェッショナル第12回懇談会(メモ)

1. 日時 平成21年3月18日(水)12時20分～13時30分
2. 場所 北海道大学高等教育機能開発総合センターN233会議室
3. 出席者 7名
4. 議事
  4. 1 IEEJプロフェッショナル懇談会第1～11回メモ及び今後の予定について紹介した。
  4. 2 上記説明に対する意見が下記のように出された。
    - (1) 見学会の場所として次の候補が挙げられた。また、見学会に合わせて講演を行うことも有意義でないか。
      - ・ 浜松の高柳未来技術創造館
      - ・ 奥清津揚水発電所(電源開発)
      - ・ 川崎火力発電所(東京電力)
      - ・ 葛野川揚水発電所
    - (2) 理科支援に対して次のような意見が出された。
      - ・ 小学校はモータが原点でないか。
      - ・ 電気の有難味を教える必要がある。
    - (3) その他
      - ・ 大学ではマークシートの試験になれ、答えを探すのみで自分で考えないようになっている。
      - ・ 受験は受かりやすいところを受験するのであり、職業の選択から受験するのではなくなっている。
      - ・ IEEJプロフェッショナル懇談会は年1回なにか提案すべきでないか。
      - ・ 講演実績についてはリストにして活用すべきである。
      - ・ ホームページを積極的に活用すべきでないか。
      - ・ 教材作成のため、科学研究費の予算を獲得するように努力する必要がある。



### ニュース 3. IEEJプロフェッショナル第13回懇談会（メモ）

1. 日時 平成 21 年 4 月 22 日（水）15 時～17 時 50 分
2. 場所 電気学会会議室
3. 出席者 12 名
4. 議事
  4. 1 省エネルギーセンターの教育部長と課長から、IEEJプロフェッショナルメンバーの活用依頼があった。エネルギー管理士受験準備通信講座の講師や添削者が不足している。メールで希望者を募集することになった。
  4. 2 谷口元氏講演
    - (1) 「非常用電源の現状と保全—安全・安心な社会に向けて—」のタイトルで講演。
    - (2) 非常用電源に関して種類、適用例、耐震性、地震時の可動状況例、耐火・耐熱性、規格類、自家発電設備実績、運転時間、常用化、出力算定、蓄電池設備、燃料電池、保全、事故事例、今後の課題等であった。
    - (3) 非常用電源をある程度まとめて拠点で出来ないのか。太陽光個人に責任を持たせているが、システムとして見たときに大きな無駄をしているのではないか。大電源を小分けでいいのか。メンテナンスがマイクロで整合性がとれていてもマクロの整合性がとれるのか。等の意見があった。
  4. 3 プロジェクトの進捗状況報告
    - (1) 武蔵村山市でどんな実験をやったかはホームページで見られる。教材のアプローチが増えている。（武子）
    - (2) 東京都産技研のエンジニアリングアドバイザーの募集に申し込み、4月に登録された。（武子）
    - (3) 5月日刊工業新聞社と大阪府でセミナーを行う。（武子）
    - (4) 4月15日と5月に群馬高専で寄付講座を実施中である。（植田）
    - (5) IEEJプロフェッショナル7名が4月23日承認されるはずである。（深尾）
  4. 4 自由討論
    - (1) 先生のための講座がいるのではないか。教育学部卒業の先生の教育支援もある。
    - (2) 物理の選択が少なくなっている。少なくともトレーニングのレベルがいるのではないか。
    - (3) 物理出身の博士課程卒業生があまっている。流用した方がいいのではないか。どういう人材を採用するか。
    - (4) 授業に夢がない。電気は見えない。
    - (5) 企業のCSRの応援をする。IEEJプロフェッショナルの人数を増やす必要がある。



### 事務局からのお知らせ

IEEJプロフェッショナルに役に立つセミナー情報や大学・学校・教育委員会などでIEEJプロフェッショナルの人たちが活躍できるお話がありましたらお知らせ下さい。

連絡先：社団法人電気学会 技術者教育課：吉澤 純一

E-mail : [yoshizawa@iee.or.jp](mailto:yoshizawa@iee.or.jp) 電話 : 03-3221-3710